

1	会議名	平成 31 年 第 1 回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	平成 31 年 1 月 16 日（水）午前 10 時 30 分～午前 11 時 15 分	
3	開催場所	2 階 特別会議室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委 員 西村 宏、廣田 登志子、村尾 利勝、牧中 マリコ	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 山口 妙子 由宇支所長 : 本田 薫 玖珂支所長 : 宇佐川 武子 周東支所長 : 岩崎 幸子 錦支所長 : 岡 至教 美和支所長 : 角川 博義 教育政策課長 : 重岡 章夫 学校教育課長 : 大谷 弘喜 学校教育課主幹 : 村上 和枝 学校教育課英語教育推進室長 : 熊田 恵美 学校教育課学務班班長 英語教育推進室次長兼務 : 永木 健一 青少年課長 教育センター所長兼務 : 嶋岡 博昭 文化財保護課文化財保護班班長 : 林 孝造 生涯学習課生涯学習班班長 : 宮井 まゆみ 中央図書館長 : 中本 佳孝 科学センター館長 : 森本 敦彦	
7	会議従事職員	教育政策課 : 光井 国康、善本 恵美	
8	会議録署名委員	村尾 利勝 、牧中 マリコ	
9	議事日程		
	日程第 1	会議録署名委員の指名について	
	日程第 2	報告第 1 号	所管事項について
	日程第 3	議案第 1 号	岩国市立学校適正規模適正配置に関する基本方針の改定について
会議の概要 教育長	・ただいまから平成 31 年第 1 回岩国市教育委員会会議を開会します。 はじめに、日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。 本日の会議録署名委員は、村尾委員と牧中委員にお願いします。 本日の議題は、第 2 「報告第 1 号 所管事項について」、第 3 「議案第 1 号 岩国市立学校適正規模適正配置に関する基本方針の改定について」以上でございます。 それでは、日程第 2 「報告第 1 号 所管事項について」を議題といたします。これについては、協議会形式で進めたいと思います。 それでは、各担当部署から先に配付しております行事予定表について、補足、または各所属において懸案等があれば説明をお願いします。 ・2 月 24 日玖珂こどもの館において開催される妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」について紹介させていただきます。これは、玖珂こどもの館を利用して年 1 回舞台芸術鑑賞事業として行われるものです。普通、影絵劇		
玖珂支所長			

	たとえば、白黒のモノトーンを思い浮かべますが、今回の影絵劇は、動物の皮を使用し、それを細かく彫刻し、多彩な色を施した芸術的な息を呑むほど美しい人形となっております。丈夫な皮を使うことで人形の関節部分を多彩に動かすことが出来、表現力の豊かさと動きの繊細さはまるで生きているかのような演技となっているそうです。約 50 分の舞台の後、実際のステージに上がり効果音を出してみる体験や公演終了後に不思議な影絵の仕組みを覗くバックステージツアーなども連携企画としてあります。生涯学習課又は教育委員会各支所にて、4 歳以上 1,000 円で販売しております。是非ご観覧頂きたいと思っております。
周東支所長	・ 1 月 26 日黒田映李と N 響メンバーによる子どものためのワークショップと一般のコンサートを周東パストラルホールにおいて開催いたします。午後 1 時からのワークショップでは、子ども達を対象に楽器の音色や生の演奏をわかりやすく解説します。クラシック音楽の素晴らしさを体験して頂けると幸いです。次に、午後 2 時 30 分から「ベートーヴェンとシューマン 2 人のドイツ人音楽家」と題して本公演を開催致します。ご都合が宜しければ是非ご来場頂けたらと思います。
美和支所長（山村留学センター）	・ 12 月 19 日の 2 学期納会・誕生会についてですが、クリスマス会となりました。教育長と私も初めての出席でしたが、留学センターの児童・生徒が会場の準備及び各テーブルへの配膳等を行い、趣向を凝らした寸劇・手品等を披露するなど場を盛り上げていました。たくさんの人の前で全員がたじろぐこともなく披露しており、センターでの生活が子ども達を逞しくしているのではないかと感じました。
学校教育課長	・ 12 月 28 日学校閉庁となっております。併せて 1 月 4 日も学校閉庁としました。今年度から冬季休業中における学校閉庁 2 日間を実施しております。校長からは、「大変好評で休みを取る環境がなかなか整わない中、こういう方向性を示してもらって有難い。」との言葉を頂いております。また、1 月 14 日に「基地内親子バスツアー フレンドシップツアー in IWAKUNI」を実施しましたので、室長より御報告させていただきます。
英語教育推進室長	・ 1 月 14 日に行われました「基地内親子バスツアー フレンドシップツアー in IWAKUNI」について説明させていただきます。これは、身近な外国である基地に入ること、外国の文化に触れ、他国の文化への理解を深めたり、これまで学習した英語を使ったりすることで、英語教育への関心を高めることを目的として実施した事業です。 当日は、抽選で選ばれた親子 23 組が 1 台のバスに乗って基地内に入りました。ツアーの内容は、基地で行われている交流事業等の概要説明の後、ミドルスクールでの授業参観を行い、住宅、スーパーマーケット等の施設見学を行いました。その後、フードコートにて、昼食を

	買い求め、ランチタイムを過ごしました。ミドルスクールやフードコートでは、ミドルスクールの生徒の皆さんと一緒に過ごし、英語で触れ合う時間を取りました。参加者は、このツアーで、授業や施設の作りの違いを知ったり、フードコートやミドルスクールの生徒との英語でのやり取りを楽しんだりすることができたようです。アンケートにも、全参加者が次回このような事業があれば参加したいと回答しており、この事業について満足していることが分かりました。具体的には、学校や住宅、スーパー等、アメリカの文化を感じられる内容で良かった。子どもが楽しんでおり、良い経験になった。フードコートでも一人で買い物でき、良い経験になった等の感想をいただくことができました。 また、今回、初めての実施ということで、成果とともに課題も見えてきました。子供同士の交流がもう少しあると良いという御意見もあり、英語を使う場面の設定やその方法については、今後の課題としていきたいと思います。今後とも、岩国市の英語教育の推進に向けて努力していきたいと思います。いろいろと御協力いただき、ありがとうございました。
青少年課長	・ 2月16日13時から市民文化会館にて「立志の日」作文発表大会が行われます。教育長におかれましては、お忙しい中参加していただく予定となっております、ありがとうございます。これは、みどり中や高水中も含め、市内の各中学校の2年生が一堂に会して、各学校の代表として、14歳の気持ちを伝えるものです。非常に感動するものですので、皆様方もどうぞ会場に足を運んでください。 生涯学習課生涯学習班班長 ・ 生涯学習課から成人式の報告、中央公民館から1点お願いがあります。まず、成人式についてですが、委員の皆様には、1月13日の成人式に御出席いただきまして、ありがとうございました。当日は、新成人1,091人の出席があり、出席率は89.72%でした。一昨年、昨年に引き続き、シンフォニアでの開催となりましたが、協力団体や多くの職員の方の御協力をいただき、無事終わりほっとしています。昨年までの反省点を踏まえ、スーパーメガホンやハンドスピーカーでホール入場を促し、主担当者がトランシーバーなどで各階の座席の空き状況などの情報共有をしながら、できるだけ空席の無い様につめて着席していただいて、3分前のホール出入口の締め切りアナウンスをしたところ、ほぼ全ての入場希望の成人はホールに入ったと聞いております。着席の確認の後、予定の2時より3分程度遅れて式典を始めることができました。今回の反省点等を次回の更なる改善に生かしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。なお、今後の会場については、市民文化会館がリニューアル工事を終えて開館していますが、出席人数がしばらく市民文化会館大ホールの定員を超えることが予想される

	ため、検討を要すものと考えております。来年度は、1月12日に開催の予定です。 ・続きまして、お手元にチラシをお配りしておりますが、中央公民館にて、「輝きフェスタ 2019」を開催します。2月17日に舞台発表の部、23・24日の土日に作品展示の部を開催します。これは中央公民館を活用し、自主的に生涯学習活動をしておられる団体の方の活動発表の場です。舞台発表の部では、中央公民館共催クラブや岩国中学校吹奏楽部、岩国小学校こども教室の論語、小糠踊り、尺八の参加をいただきます。また、作品展示の部の土日には、さくらんぼクラブ講師陣によるミニコンサートやお茶席があります。さらに、フェスタプレ企画として、16日には新井貴浩氏の元担任教師による「～もうひとつの『新井貴浩物語』～」の講演を開催します。ぜひ御来場を頂きますようよろしくお願いいたします。なお、3日間とも岩国小学校が駐車場となっておりますので、併せて御案内いたします。
文化財保護課 文化財保護班 班長	・1点御報告致します。平成28年3月に開館しましたシロヘビの館ですが、今年2月に来館者数が50万人に達する見込みです。市長、教育長に御出席頂き、セレモニーを予定しております。
科学センター 館長	・2月16日に特別科学教室「ロボット教室」を予定しております。この「ロボット教室」につきましては、昨年8月、当科学センターの科学実験クラブで山口県立山口博物館の講師2名による教室を実施したところ、大変興味深い内容でしたので、今回2月に特別科学教室として開催いたします。同じく、山口博物館より講師2名を招きまして、パソコン等でプログラミングをしてロボットを動かします。1月15日号の広報紙で参加者を募ります。また、本日、各教育委員さんのお手元に配布しておりますが、「科学センター集録 第60集 平成29年度版」についてですが、科学クラブ活動の概要となっております。出来上がりましたので、配布させて頂きました。その他関係部署につきましては、後日配布する予定です。
教育政策課 課長	・東中学校の不発弾の経緯について説明します。東小中学校の建設事業の当初から不発弾の可能性があるため、当初から計画し、11月15日から鉛直磁気探査測定を行いました。11月28日、磁気検査にて深さ6mに不明物の反応がありました。これは不明物で金属反応があっただけで、この時点では不発弾とは分かっておりません。12月11日、岩国警察署でそれ以後の協議を行いました。12月17日まで鉛直磁気探査を行い、発見されたのが今回出た1つだけでした。12月19日、陸上自衛隊海田駐屯地の方に協議に来て頂き、打ち合わせをしました。12月22日から25日まで、12.5mの鉄板である鋼矢板を7.2m四方に打ち込み、不明物の囲い込みを行いました。12月26日から28日まで、不明物の1m手前、深さ5mまで機械堀削を行いました。今年1月7

	日、8時30分に深さ5m以降の手堀作業を開始し、11時19分に不発弾らしき物体の弾頭部分を発見しました。弾頭部分発見後すぐ岩国警察署に報告しました。14時40分に陸上自衛隊海田駐屯地の3名が現場に到着し、弾底まで掘り出す作業を行いました。19時50分に、岩国警察署により東中学校の前の道の通行止め措置が行われました。22時42分、陸上自衛隊桂駐屯地（京都）から不発弾処理班4名が現場に到着し、信管に衝撃がないよう安定化措置及び転ばないよう固定の措置を行いました。翌8日0時28分、自衛隊により、爆弾の番号といたしますか形式の識別が完了し、0時39分不発弾の安定化措置が終了しました。これは信管をカバーで覆い、本体を養生して土のうで固定する作業です。安定化作業は全て終わり、0時50分、岩国警察署から通行止めの解除の連絡がありました。不発弾が発見された時点で岩国市は、不発弾等警戒本部の警戒本部体制に入ってます。本部長は市長です。2～3ヶ月かけ、信管を抜くXデーを決めます。Xデーが決まりましたら避難範囲を何mか決め、進入禁止にし、陸上自衛隊不発弾処理班による信管の抜き取り作業が行われます。また、不発弾等処理対策本部に移行し、市長以下市を挙げて対策を行います。教育委員会のみではなく、市を挙げてこの爆弾に対処する予定です。
教育長 西村委員	・全体を通して御意見・御質問がありましたらお願いします。 ・成人式お疲れ様でした。席に座っていたのですが、今年は割合と静かまではいかないかもしれませんが、今までよりは良かったような気がします。教育長は少し違うようですが。
教育長 西村委員	・初めて出席しましたからね。 ・式典の時は、皆が静かに聞くのが理想なので目指して頂きたい。今までよりは良くなったとはいえ、前より良くなっただけで終わらせないよう会合の度確認し合い、セレモニーの時は静かに聞くよう努めて頂きたい。後の進行やその他の事に関しては、シンフォニアで行うことに皆さん慣れてこられ、全体的に大変良かったのではないかと思います。
周東支所長	・それから、周東支所にお伺いしたいのですが、2月の行事予定の2月3日に「教育講演会」とありますが、どういった講演会ですか。 ・これは公民館事業ですが、「教育講演会」と題しまして、いろいろな講師の方をお呼びしています。今年はカウンセリング・オフィス HORIE 代表の堀江秀紀さんの講演を予定しています。演題は「心をつなぐコミュニケーション～傾聴という絆～」です。
西村委員 廣田委員	・はい。 ・毎月、中央図書館に利用者状況や貸出冊数等の数字を報告頂いているので、利用状況の推移がよく分かります。8月が夏休みのため少し多いかなとも思いますが、トータルで見るとだいたいどの月も平均的な

中央図書館長	数字が出ています。利用者が固定しているのかなとも思いますが。古本市をやったりして何年か経った物は処分しておられると思いますが、新刊の購入状況について可能な範囲で教えてください。 ・貸出冊数から説明します。前年度と大体同じではありますが、若干減っています。12月末時点では、前年と比べてマイナスの2.45%になっています。 ・新刊の購入についてですが、毎週、図書館専門の本屋さんである TRC から届く冊子を全部繰って選書し、毎週発注しています。利用者の方には、ネットとか各図書館のコーナーに掲載し、入った本をお知らせしています。
廣田委員	・分かりました。月々はだいたい一定ですが、貸し出しは、前年度に比べ少し減少しているということですね。BM の車も新しくなり、学校へも回って頂き、学校側も幸せております。活字離れといいますが、ネットでの検索やデジタル書籍などに、私達も慣れてしまってますが、読み取る力等から考えると図書館も活用してほしいと思います。学校現場に図書館司書もいるので有効に使って、読書活動も推進してほしい。引き続き、中央図書館を中心とした力をお借りしたいので、宜しくお願いします。 ・先ほどのフレンドシップツアーについて、前回の教育委員会議の時に、事前アンケート等を取って目的をはっきりさせ、教育委員会だけではなく、他課を交えてやりましょうと話がありましたが、それを生かした取り組みを、私も参加しましたが、既にされておりました。アンケート等の報告もありましたが、応募がとても多かった。親子で25組なので50人の定員だったようですが、もう一度応募状況を教えてください。
英語教育推進室長	・応募状況は、小学生の方が253人、中学生の方が23人、両方で275組でした。
廣田委員	・学年毎の人数はだいたい分かりますか。1学年毎でなく、小学校の低学年とか高学年とか大きな括りでいいので教えてください。
英語教育推進室長	・1～3年生が約160人、4～6年生が約100人、中学生が23人です。
廣田委員	・厳正なる機械的な選抜とお聞きしていますが、低学年が多かったため、初期の目的を達成するいいツアーだったと思います。機械の選抜ですが、低学年が多かったという偏りが見られたため、そこが課題ではと思います。1～3年までの組と高学年の中で選抜すると低学年も高学年も満足出来るようなツアーになるのではと思います。 ・一番良かったのは、日本語を専攻しているミドルスクールの15名の外国の学生にとっても日本語の勉強にもなり、日本から行った25人の子ども達も英語の勉強になり、とても教育的に効果があったのではと思います。

村尾委員	・しかし、向こうとの折衝が、日本とのように簡単にいかなかったとお聞きしています。その辺をクリアする必要があると思いますが、今後このような取り組みを是非広げてもらえればと思います。 ・中学校3年生は今から入試シーズンに入ります。毎日学校に来る生徒についてはいいのですが、不登校生徒に対しての入試対策は非常に厳しいと思います。全国的に見ても山口県の進路未定者は多く、数年前まで、厳しい状況でした。家庭と連絡が取れる生徒については、通信教育も含めて進路指導しやすいと思いますが、なかなか家庭と連絡が取れない不登校生徒については、進路指導自体が非常に難しいと各学校悩んでいるのではないかと思います。高卒資格というのも含めて何らかの方法で指導して頂きたいと思ってますが、現状はどうでしょうか。
学校教育課長	・不登校の問題については、校長ヒアリングをしますとどの中学校も大きな課題として捉えております。全ての14中学校では、12月末の個人懇談を大きな柱として、私立・公立の志望校を決めます。今、村尾委員が言われた不登校傾向、又は不登校になってしまっている生徒についても、家庭訪問等で本人の意思を確認しながら、保護者と連携して取り組んでいます。今年は、3月7日が公立高校入試、3月9日が卒業式の予定です。公立高校入試の一週間後に公立高校の合格発表があり、その後に2次募集、定時制の対応をし、中学校を卒業する生徒が4月から希望に燃えてスタートできるように取り組んでいます。そういう道に進むことも出来ず、進路未定者が出ない事を学校の目標にして取り組んでいますので、青少年課とも連携をして学校への指導を進めて参りたいと考えております。
青少年課長	・担当教科の先生方による授業形式が随分進んできており、昨年度は、ほぼ全員が進路に結び付いたという実績があるので、岩国市教育センターでは、ある程度の学力保証が出来ているのではないかと考えています。ただ、本人に特性のあるお子さん等については学校と話し合っ、て、しっかりスクールカウンセラーやSSWと調整を図り、学校長がお願いに回り、合理的配慮に基づく上での受験を個別に考えています。生徒が夢と希望を持って、義務教育を終えて、次の進路に向かって行くことに、学校としっかりタイアップしながら支援出来たらと考えております。
村尾委員	・支援教室に通える生徒は、学力保障の面でかなり前向きな線が出ると思います。支援教室にも来れない、アウトリーチ型でそれぞれの地区で、個別訪問指導が出来る家庭については、支援員の先生方の今までの経験を基にした進路指導ということも協力にやって頂きたい。高校進学が難しい生徒については、通信教育があることも含めて、それぞれの生徒に適応できる形での個別進路指導を強力にやって頂きたい。

	多少なりとも進路未定者が少なくなることを目標に支援員の先生方にも課長から周知徹底して頂いて、そういう体制作りをして頂きたいと思っています。また、各学校にも出来るだけ文章や個別指導を通して、15歳の生徒が家に閉じこもり、それ以後もということがないように、ニートが出ないような形を取って頂きたい。各学校も真剣に取り組んでおられると思うのですが、更に、強力にやって頂きたいと思っています。頑張ってください。
牧中委員	・学校教育課にお尋ねします。保護者の情報交換の中で、中学生の置き勉の話がよく出ています。教材を全て持ち帰らないといけないのでカバンが重くなるという話が最近よく出てきているのですが、中国5県の協議会の中でもありましたが、広島県では、置き勉対策が一部ではされているそうです。岩国でもそういった問題が出ています。我が家で子どものカバンを量ってみたら、11kgで31冊入ってました。何か問題になったりすることはありましたか。
学校教育課長	・今年、日刊いわくに等の取材を受け、新聞紙上でも取り上げられました。小学校も中学校も、後ろのロッカーに置いて帰っていい教材、学期末に持って帰る教材、毎日持って来て持って帰る教材と、各教科別に分け、今までもそのような指導がそれぞれの学校でされてきました。今回、国及び県教委から通知を受け、改めて校長会で説明し、子ども達の発達における加重負担等も考えて、対応して頂きたいため、それぞれの学校で現状と各学年の検討を市教委から通知し、今対応しているところです。中学校では、部活動のユニフォーム、道具など持って帰ることについては、それぞれの部によって違うようです。教材においても、置いて帰っていい物は配慮するように通知しているところです。11kgは重たいですね。
牧中委員 学校教育課長	・家に帰って31冊は勉強できません。カバンだけで11kgでした。 ・校長会が今週、来週とありますので、早速今のような事も含めて、2学期に取り組んで検討し、改善していると思うが、再度校長先生方に、各学年主任に確認し、なるべく子どもに寄り添い、配慮できるよう取り組みでいくよう指導していきたいと思います。
村尾委員	・なかなか学校現場に置くスペースがないし、盗難等を考えると持って帰ってもらう方が無難と思っているので、極力重たい物については配慮するが、勉強道具を含めて基本は持ち帰りになるかと思う。
学校教育課長	・始業式や次の日に、小学生がたくさん持って登校しているのを私も確認していますが、学期末は3～4日間で持って帰ることになっていますので、学期初めはちょっと荷物が多いかもしれません。指導して参りたいと思います。
教育長	・他にないようでしたら、以上で報告第1号を終わります。次に、日程第3「議案第1号 岩国市立学校適正規模適正配置に関する基本方針

教育政策課長	の改定について」を議題といたします。それでは、教育政策課より説明をお願いします。 ・「議案第 1 号 岩国市立学校適正規模適正配置に関する基本方針の改定について」ですが、平成 31 年度からの岩国市立学校適正規模適正配置に関する基本方針として、別紙のとおり提出するものでございます。これまで御審議頂きました御意見を全て網羅した結果となっておりますので、御了承のほど宜しくお願いいたします。
教育長	・ただいまの説明に、御質問・御意見がありましたら、お願いします。 ・他にないようでしたら、議案第 1 号は原案のとおり決することに、御異議ありませんか。
委員全員	・はい。
教育長	・御異議なしと認め、議案第 1 号は原案のとおり決します。 ・本日の議題は以上でございます。それでは、次回の教育委員会会議の日程について、事務局からお願いします。
教育政策課長	・次回定例会は、2 月 12 日本庁 2 階特別会議室にて、午後 2 時 30 分から開催いたします。以上です。
教育長	・これをもって、平成 31 年第 1 回岩国市教育委員会会議を終了します。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 村尾 利勝

教育委員 牧中 マリコ